

第382号
 2024. 5. 1.
 発行/芦原地域
 コミュニティ
 TEL 33-1069
 発行者 木下 暁美
 責任者

若竹公民館

定期使用グループの紹介

そろばん(大人)クラブ

No.3

活動内容	例会・曜日	時間	会費(月額)	入会金	活動場所
珠算・暗算の練習	第1・2・3 火曜日	10:30~12:00	3,000円	不要	第2会議室



問題の進み具合を見守る今井美子先生

⑤ **クラブの特徴は?**
 練習中は集中していて、算盤の珠をはじく音だけが聞こえています。練習が終わると、



④ **最高年齢は何歳?**
 80歳代です。

③ **現在のメンバーは何人?**
 6人です。



暗算(12分間)は指先で計算

和気あいあいと健康の話題などを話して解散します。
 長い人で7年、新しい人で

若竹公民館では、健康維持や趣味を生かすなど、自分自身を高めるため、自分に合ったグループで楽しい時間を過ごしています。



パチパチと、そろばんの珠をはじく音だけが...

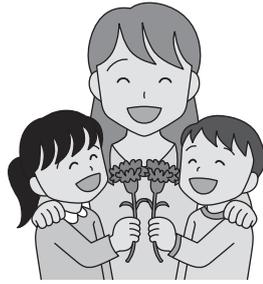
⑦ **メッセージをお願いします。**
 人生100年時代です。指先を使って脳を活性化し、健康寿命を延ばしていきたいです。もちろん、検定試験の挑戦も全力でサポートします。

珠算検定の難易度が下がったので、子どものころに達成できなかった級に挑戦するのもいいし、そろばんそのものを楽しむのでもいいと感じます。

⑥ **長く続けるひけつは?**
 個人の目的やペースに合わせて、練習をすることだと思います。

も2年が経過し、皆さん長いお付き合いです。

母の日 のメッセージ



「そろばん」の受講生

両親へ
いつもおいしい料理を作ってく
くださり有難うございます。

西原実優



いつもれんしゅう
つきあってくれて
ありがとう
ありがとう



毎日、家事をして
くれてありがとう。

東畑 大和

いつも
習い事をやらせて
くれて
ありがとう!!
中原 念貴

—母の日の始まり—
20世紀初め、アメリカのアンナ・ジャービスが、母親の葬儀で母が好きだったという白いカーネーションをささげ、参列者にも配りました。
「母をしのぶ」という花言葉を持つカーネーションが話題になり大正3（1914）年に国民の祝日に制定されたのです。
母の日の風習は日本にも伝わりましたが、一般的になったのは戦後からだそうです。



HYOGO ROKKO

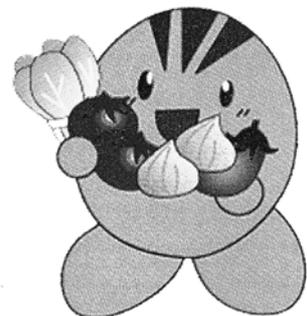
JA兵庫六甲

JA兵庫六甲は農業と地域に根差した活動や事業を通して豊かな地域社会づくりを目指します。

西宮中央支店

西宮市神明町 2-13

☎0798-67-2284



母の日
5月12日(日)

ママ・パパへ
 ママいつもおいしいごはんをつくってくれてありがとうございます。
 パパいつもおそんでくれてありがとうございます。
 岩つきき花



父の日

感謝の気持ち

《若竹こども講座》



あいよいよ
 せかいでーばん
 とうさんのりょうりが
 山下月女風

父の日
 6月16日(日)

いつもりっほにおそんで
 くれてありがとうございます。
 藤井美由希



※参考文献：主婦の友社「暮らしの歳時記」

—父の日の始まり—
 明治43（1910）年、アメリカのドット夫人が、自分たち6人の子どもを男手一つで育て上げてくれた父親に感謝をささげようと、「父に感謝する日」を提唱したのが始まり。これがアメリカ全土に広まり、昭和47（1972）年に国民の祝日と制定され、日本には昭和25年ごろに伝わりました。
 父の日にバラを贈るようになったのは、ドット夫人が父の墓前に1輪の白いバラをさげたことが始まりです。

お母さんへ
 いつもせんたくものや、あらいものをしてくれたり、算数の勉強を教えてくれて
 ありがとうございます。上原由梨奈

「スイカンなら大丈夫」と安心して頂けること
 私達の目指すのは信頼度オンリーワンの企業

給排水管改修工事 設備点検
 メンテナンス業務 空調工事

株式会社 **スイカン**

西宮市西宮浜3丁目14-3 TEL (0798) 22-9185(代表) <http://suikan.co.jp>

みんなで考えよう！
地域情報誌『宮っ子』
わが街芦原

若竹生活文化会館でコミュニティあしはら主催の地域懇談会が2月17日に開催されました。

今年度のテーマは「わが街芦原」について

最初に、コミュニティあしはら代表の木下暁美さんが現状を話しました。

【現状】

- 編集委員が体調不良などで急に減員した
- 地域団体に委員の選出を依頼したり、一般公募もしたが、編集委員は増えない
- このままでは地域版が休刊や廃刊になってしまう

Q 「わが街芦原」って何？
A 『宮っ子』の真ん中にはさみこまれた芦原地域の情報を掲載している誌面のこと。地域の人が編集委員として作っています。



参加者からは多くの貴重な意見が出されました

木下さんの話を受けて、団体からたくさんのお意見が出ました。

【意見】

- 知っている人が載るとうれししいし、楽しい。続けてほしい
- 具体的に、どんな仕事に何人必要かを明記して募集してほしい

- 発行がしんどいときは、ページ数を減らしたり、休刊してもいいのでは
- 記事が定番化している。身近なことを載せてほしい。短いコラムのような文章があっても面白い

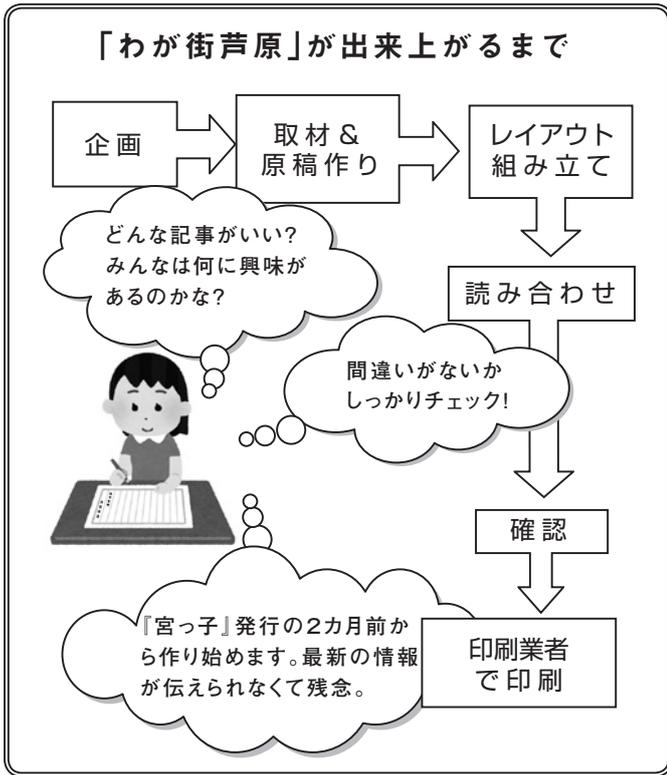
- 最後に意見をまとめて閉会しました。
- 【まとめ】
- 「わが街芦原」は、継続する
- 編集委員の募集方法、記事の情報収集の方法を検討する

- どの団体も人がいなくて、編集委員を出すのは難しい。しかし、情報提供ならでき
- るので
- 投書箱を設置するなどして、記事にする情報を一般募集してはどうか？

- 身近で共感してもらえ記事作りを心掛ける
- ―「わが街芦原」は
- 地域で作る情報誌―

和気あいあいとした懇談会

地域の皆さんに情報提供などをお願いすることがあります。ご協力いただきますよう、よろしくお願ひします。



漁労機器・無線通信装置・航海機器・GPS機器・医療機器・ITS機器・無線LANシステム

FURUNO



古野電気株式会社

西宮市芦原町9番52号 TEL ; (0798)65-2111 (大代表)

www.furuno.com